

2020年



4月

# 芦安ニュースレター

4月より新しい方が赴任して、ここ芦安支所内もひっそりではありますが、新スタートしています。1日も早く、芦安の皆さんとゆっくり会える日を願いながら、今回ニュースレターからのご挨拶です。これからもどうぞよろしくお願いいたします！

コロナウイルスの感染拡大が治まらない不安な毎日ですが、少しでも皆さんの元に元気を届けたい！そんな思いで、新年度の芦安ニュースレターを作成しました！



皆さん、こんにちは！



Photography by Yuki Nitsu

我が家も双子の娘たちが入園。満開の桜の中で記念撮影をしていただったので、皆さんにも桜をお届け♡

集落支援員として3年目となる今年も、芦安の皆さんと笑顔いっぱい！わくわく楽しく過疎地域の課題解決にチャレンジ！芦安の皆さんが主体の地域づくりのサポートをしてきたいと思います。新協力隊「佐藤仁美さん」とも連携しながら、頑張ります！

1日も早く平穏な日々が戻りますように…。

芦安集落支援員  
加賀美裕子

# 山 館 岳

新メンバー

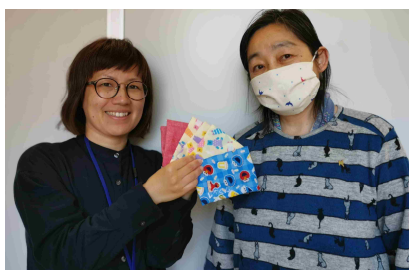


笹本 香 さん

職場の先輩や地域の方から  
山のこと、芦安のことたく  
さん学びたいです！  
どうぞよろしくお願いしま  
す(\*^\_^\*)

## ♡ マスクを手作りしてみよう！

使い捨てマスクが品薄の今、マスクを手作りする人が増えています。  
この芦安でも手作りしている人がいます。



小林 美春さん

様々な柄の布を使って、  
かわいいマスクを手作りされています。  
夜中三時に目が覚めて作り続けることもあるそうです。すごい集中力！  
お気に入りの柄のマスクをするだけで  
楽しい気持ちになれそうです♪

お裁縫・・・。  
そんな器用なことできない！という方。縫わなくても簡単なものなら作れますよ！  
慣れれば10秒で出来る、簡易マスクの作り方を紹介します。

縫わないからカンタン！

### 簡易マスクの作り方



必要なもの

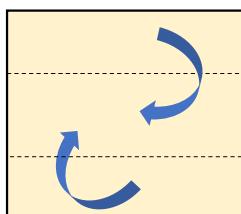
ハンカチ/  
布1枚  
(なるべく大きいもの)

ゴム2本



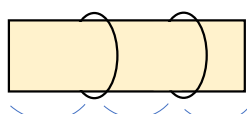
(ヘアゴムや使い捨てマスクのゴムを取って結んで輪っかにする)

①三つ折りにする



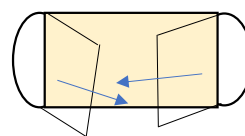
布が大きければ2回半分に折っても○

②ゴムを通す

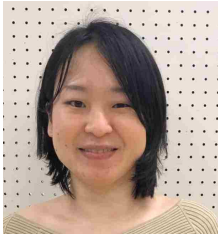


大体3等分

③ゴムの位置で内側に折り  
顔の大きさに合わせて調整



山折りをしてひだを入れるとより快適



## 2代目芦安地域おこし協力隊

**佐藤 仁美**（さとうひとみ）です。

よろしくお願いします！



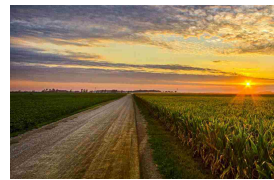
バイクは夫の影響で始めました

直接皆様にご挨拶させていただきたいものの、このような状況です。紙面で自己紹介をさせていただきます。

4月より、芦安地域おこし隊に着任しました。大曽利の市営住宅に1人で住んでいます。坂道をソロリソロリ走る黒いバイクは私です。

家族は夫がいます。横浜育ちの彼はスーパードコンビニが歩いて行ける距離に数件ある場所であれば住めないと言いつけるので、埼玉に置いてきました。これを言うとうまくびっくりされますが、仲はよいのでご安心ください。新型コロナウイルスの状況が落ち着いたら夫にも遊びに来てもらうつもりです。

私は高校まで静岡市清水区、小島というところで過ごし、その後アメリカのネブラスカ州オマハにある州立大学に4年間通い、帰国しました。



コーン畑がひらすら広がっている場所でした。



冬はすごく寒かったです。

清水もネブラスカも田舎だったので、次こそは都会へ！と思い、東京で就職。転職を経て、プレセナという人材育成に取り組み、会社に着きました。

夢だった都会での暮らし。しかしバイクとキャンプにハマって以来、逆に辛くなってきました。電車はいつも満員で殺伐としていて、ツーリングしたくても、渋滞してるし道も走りづらい。空気もきれいじゃない。

・ ・ ・

だったから引っ越そう！と決意し、芦安のことを知り、里山の雰囲気の魅力を感じ、協力隊員として移住することになりました。

住み始めてまだ数週間ですが、毎朝きれいな山をみて、澄んだ空気を吸い込む度、この場所で暮らせる幸せを感じます。これから季節の変化を見るのがすごく楽しみです。

芦安は、日本で育った人が根底に持つ「ふるさと」の雰囲気を宿す土地だなと感じています。そこで生まれ育っていても、なんとなく懐かしさを感じる場所。

働き方改革やコロナ騒動は、人間らしく生きるとはどういうことを考えるきっかけを世間に与えるという側面もあると思います。速さや便利さだけを追求するのではなく、自然と共に暮らすことに価値を感じる人が増えるのではないかと思います。

私のように、せわしない毎日に違和感を持った人が「第2のふるさと」として、芦安に何度も来て色々な楽しみ方をしてくれる未来が来たら楽しいなと思います。「今回はハイキングと温泉、次は滝見ながらビールでも飲もうかな」みたいな感じで、実家に帰るかのようになり、と気軽に来れる場所のイメージです。

そのための仕組み整備と情報発信を頑張りたいと思います。皆様色々教えて下さい！